

## 集合住宅の居住者に対する住教育の研究 (その3)

—「団地花まつり」にみる住教育の内容と方法—

山田政雄大 ○志水暎子 島田裕子 幾知女子短大 泉谷孝子

目的 その2のなかでも最も住教育の示唆の多いと思われるN団地(名古屋市公団分譲住宅管理組合昭和44年、住数34戸、理事長室と住戸兼用、9年在化)の「団地花まつり」をとおして、居住者教育の内容と値的方法と、歴史的な経過も含めて詳細に考察する。

方法 調査方法と期間; N団地住宅管理組合発行の「管理組合ニュース(昭和48年4月5日発行)總會資料(期間同上)、理事長・役員・居住者のヒアリング調査。団地花まつり見学・参加(昭和57年)調査内容; 「団地花まつり」発生背景と経過、行事内容と方法、関係者、時期、場所等。

結果 入居当初5年は団地環境整備・植栽に重点。5年目に名古屋市と緑化条令の制定。6年目、緑化条令による花壇作り(有志による共同作業)。町と並しくする「週内」で地域における団地を意識させる。7年目、はじめて「団地花まつり」として上記の他に厚生大会(幼小中学生対象)、作茶屋(甘酒)。8年目、上記の他に、功労者の表彰(行政・メンテナンス・村づくり協会の居住者-報道関係者)-町づくり・村づくり・総務管理に対する位置づけ。9年目、上記+取居組の「ふるさと帰り」・10年目(昭和57年)、団地花まつりを、花まつりとつづいまつりの2回に増やす。内容は上記+石庭・道祖神・隈木円空(団地内居住者対象)、離れた地蔵(団地外の人達寄りの場所)の建設換工材とその観賞、よろか相談コーナー開設(電気・ガス・水道・銀行・保険・住宅修理・テレビ)、青空市場、演劇鑑賞。上記の行事内容は、役員会・班当番会、ニュース等が立案・伝達され、住民の意見を反映させて修正実行される。前回内容のくりかえし、ふくらましやゆくり時間とかけあせらすに行われ、時期をうきとらえて、共同生活ルール教育と、コミュニケーション教育と有機的に結びつけていることがうかがえる。